

一、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 二、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 三、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 四、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 五、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 六、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 七、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 八、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 九、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。
 十、地味を築造するに依り、ハスや麻等を産出する等の面會公共の對立
 なるの恐れ益則一々半一箇半圓を材料として云々貸付し、或は、
 一の計成限不備應會種の設立應會種の爲なる資本別對成三萬圓の
 別成の款。

租人 滋陽會 福岡出張所

法財人 協調會 福岡出張所

つ事業をやるにあらざり、家賃取立（手数料毎年六千圓）二、宅
 地料取立（手数料毎年二千五百圓）三、小作料取立（手数料二千
 圓、一反一石の小作料とみて百町歩を取扱ふとし手数料は一割と
 る事となつてゐる）等集金人的な仕事をするので。ソソてこの利
 益金のうち辯護士や集金人の給料四千二十圓、手當二千四百圓
 旅費二百四十圓、賞與 千圓、雜費三百六十圓、退職手當百圓、
 合計八千二百二十圓が全く三百代官や半ゴロツキの生活費にトラ
 してしまひ株主には僅かに年六分、千八百圓だけやらうと云ふの
 だ、ホラ吹くべき創立目論見書にしてすでにこうだから實際にあ
 たつて小作争議が激化し、ゴロツキ人夫を雇つたり酒をのませた
 りすればする程人件費のみ益々カサミ一方怒の皮のツツばつた地主
 株主への配當は當然減少するばかりだ。
 一切の有利な事業は三井、三菱等大資本関が獨占し、政友も民政